



京都大学防災研究所公開講座



“防災情報の作成と伝達” —知識と情報をいかに活かすか?—

京都大学防災研究所は、昭和26年に創設以来、自然災害に関する基礎研究及び災害対策等に寄与するための応用研究を行ってきましたが、平成8年度より全国共同利用研究所として新たな出発を図り、災害の学理と防災のための総合的な方策について研究を推進しています。

昨年までは大阪で開催しておりましたが、今年度は会場を京都に移し、京都の防災に焦点を当てた研究の紹介を中心に講座を構成いたしました。地震・水災害に関する防災知識の現状とこれに基づいた都市計画のあり方について解説し、さらに今後の展望として防災知識と情報をいかに活かすかについて議論いたします。災害研究に関心をお持ちの方々のご参加を歓迎いたします。

受講者募集要項

講座内容

近畿の地震活動、町屋等木造建造物の耐震性および耐震補強、都市の水災害とその予測について解説し、さらに、これらの防災知識と情報に基づいた都市計画のあり方について最新の研究成果を紹介します。続いて、知識と情報をいかに活かすかについて研究所外の専門家も交えてパネルディスカッションを行います。

実施日時・場所

日時：平成16年9月24日（金） 9時30分～17時00分

場所：キャンパスプラザ京都（京都市下京区西洞院通塩小路下る）5階 第1講義室

応募資格： 特に問いません。

なお、本講座は土木学会CPDプログラムとして認定されています。

受講料： 6,200円（テキスト代及び消費税を含む）

募集人員： 250名

応募方法

電子メールまたは往復ハガキにて、住所（連絡先）、郵便番号、氏名、年齢、職業（勤務先）、電話番号を明記し、また、往復ハガキの場合は返信ハガキに宛名（住所、郵便番号、氏名）を記入の上、申し込んでください。

また、講演者等に直接訊きたい防災研究に関する質問がございましたら、簡潔にご記入ください。講演・ディスカッションの中で適宜取り上げます。また、取り上げられなかった場合も、可能な限り防災研ホームページに掲載します。

申込みは先着順とし、返信メールまたはハガキにて受講手続きの通知をします。返信メールの印刷または返信ハガキをご持参ください。受講料のお支払いは銀行振り込みでお願いいたします。詳細は、返信メールまたはハガキにてお知らせいたします。

なお、募集人員を越えた場合は、返信メールまたはハガキにて受講をお断りすることがあります。

応 募 先

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学 宇治地区研究協力課研究協力掛
電話 0774-38-3353
電子メール・アドレス kokai@dpri.kyoto-u.ac.jp

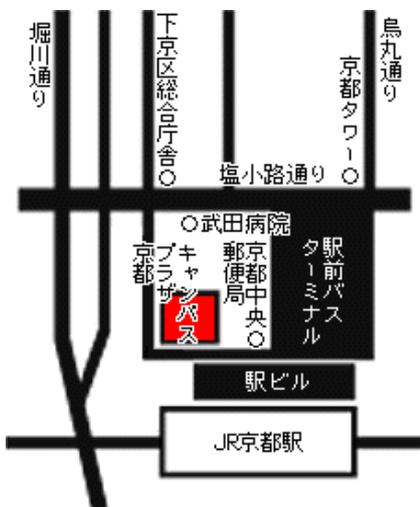
応募締切日 : 平成16年9月10日(金) 必着

応募結果の通知 : 平成16年9月17日(金)までに各申込者に通知します。もし、期日までに連絡が届かない場合は、上記応募先までお問い合わせください。

講 義 日 程

9:30～9:40 開講の辞	所 長	井上和也
9:40～10:40 近畿地方の地震活動と南海地震	助教授	片尾 浩
10:40～10:50 休憩		
10:50～11:50 町家の耐震性と耐震補強について	教 授	鈴木祥之
11:50～12:50 昼休み		
12:50～13:50 都市水害とその予測	教 授	戸田圭一
13:50～14:50 一元的な危機管理体制の必要性	教 授	林 春男
14:50～15:00 休 憩		
15:00～16:00 災害から命を守る防災情報	京都市消防局危機管理室 防災課長	中川信夫
16:00～17:00 パネルディスカッション		
- 知識と情報をいかに活かすか? -		
コーディネーター	教 授	橋本 学
パネリスト	教 授	林 春男
	教 授	鈴木祥之
	教 授	戸田圭一
	助教授	片尾 浩
	京都市消防局危機管理室 防災課長	中川信夫

開催場所ご案内図



場所: キャンパスプラザ京都
京都市下京区西洞院通塩小路下る
(JR 京都駅ビル駐車場西側)
電話 (075)353-9120

経路ご案内

- JR・近鉄「京都」下車
烏丸出口から徒歩5分
- 地下鉄「京都」駅下車
北側改札口から徒歩5分
- 市バス 京都駅前下車徒歩すぐ